

研修会内容(令和元年度)

参加者数

【1日目】39団体 61名

【2日目】28団体 45名



○プログラム

開催自治体：静岡県富士宮市

－ 7月4日 1日目（会員研修） 富士宮駅前交流センター きらら －

●会員研修

【講演】講演①「平成30年7月豪雨災害時の対応とその後の防災対策について」

愛媛県西予市危機管理課 課長 谷川 和久 氏

講演②「広島県呉市への被災地支援に関すること」

富士宮市危機管理局 主事 堀内 玲佐 氏

講演③「平成30年度の災害を踏まえた大阪市の防災力強化の取組みについて」

大阪市危機管理室防災計画担当課 課長 安井 幹人 氏

【質疑応答】

コーディネーター：常葉大学大学院環境防災研究科 教授 田中 聡 氏

－ 7月5日 2日目（現地視察） －

●大沢扇状地砂防施設ほか視察



開会のあいさつをする
ネットワークおぢや丸山会長



歓迎のあいさつをする
富士宮市 須藤市長

会員研修



講演①

平成30年7月豪雨災害時の対応とその後の防災対策について

愛媛県西予市 危機管理課 課長 谷川 和久 氏

平成30年7月豪雨は、西予市に今まで経験したことのない甚大な被害をもたらしました。講演では、西予市の被害状況や対口支援制度等によって多くの応援職員から支援を受けたことなど、災害の対応から復興までの過程についてご報告いただきました。

また、復興までの過程で浮かび上がった課題や課題を踏まえた災害後の防災対応についてもお説明いただきました。



会員研修



講演②

広島県呉市への被災地支援に関すること

富士宮市 危機管理局 主事 堀内 玲佐 氏

平成30年7月豪雨時に広島県呉市で被災地支援を行った際の、現地での活動や被災地の状況についてご報告いただきました。

また、現地で避難所運営の支援業務に携わった経験から、避難所の運営が避難者の自治となるため、地域住民や自主防災会を中心とした事前の体制づくりの重要性についてご説明いただきました。



会員研修



講演③

平成30年度の災害を踏まえた大阪市の防災力強化の取組みについて

大阪市 危機管理室防災計画担当課 課長 安井 幹人 氏

大阪市では、平成30年大阪府北部地震等の自然災害の教訓を活かし、防災力強化につなげるため、市長をトップとした「防災・危機管理対策会議」で検討を行い、今後の対策方針を取りまとめました。講演では、大阪市の自然災害の特徴や、対策会議での議論のもとICTを活用した情報の迅速な共有・発信、災害事態における災害モード宣言、避難情報の明確化等の新たな取組みについてご説明いただきました。



会員研修

【質疑応答】



コーディネーターの常葉大学大学院
環境防災研究科教授 田中 聡 氏



清須市 長谷川氏



草加市 千葉氏



小田原市 中村氏



浦安市 池田氏



磐田市 鈴木氏



南相馬市 小川氏



富士市 仲亀氏



深谷市 向井氏

現地視察(大沢扇状地砂防施設)



視察の冒頭、ごあいさついただいた
左: ネットワークおぢや 大塚副会長(小千谷市長)
右: 国土交通省富士砂防事務所 加藤所長

国土交通省富士砂防事務所の加藤所長ほか職員の方から説明いただき、延長4km、最大幅1.1kmに及ぶ日本最大級の砂防施設を視察しました。



第5床固工

下流への土砂移動を防止するため、ブロックを積んで構築



岩樋観測所

土石流の映像を撮影したり、流量、水位などのデータを収集



大沢川遊砂地

大沢崩れからの土砂を捕捉



閉会のあいさつをする
ネットワークおぢや 重川副会長
(常葉大学大学院環境防災研究科 教授)

研修会参加者の感想

初めて参加しましたが、とても有意義な研修でした。特に昨年度の災害についての話は、今後の業務の参考になりました。

実災害を経験している3自治体から、講演していただけることは大変参考になりありがたい。特に大阪市さんの実災害を受けて→課題→対策まで話していただき、勉強になりました。

講演や情報交換会、とても参考になりました。特に情報交換会は、他自治体の取組みや方針を聞ける良い機会となりました。

砂防施設の見学は、実際に現場を見ることで感じ取れることが多いと再度確認できる素晴らしい機会でした。